

02

川西市地域分権推進事業 ニュースレター

第2回地域夢・未来カフェ in 東谷

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため、第1回に引き続き、「第2回地域夢・未来カフェ in 東谷」が開催されました。

日時：2013年2月3日（日）19:00～21:00

場所：東谷公民館

参加人数：市民 25 名

当日のスケジュール

- 19:00 開会
- 19:05 地域分権制度について
- 19:15 スケジュール説明・ふりかえり・チーム分け
- 19:30 イントロダクション（川西クイズ）
- 19:35 テーブルワークの説明・事例紹介
- 19:45 テーブルワーク（活動案の検討）
- 21:00 閉会

スケジュール説明～チーム分け

政策推進室の石田室長から地域分権制度の論点について説明がありました。その後、第1回カフェのふりかえりを行い、具体的に活動案を検討していくため、昨年度の懇談会の内容を共有した結果について説明がありました。地域住民の交流や地域活動に関する取組、子育てに関する取組へ関心の高い傾向が見られました。そのような傾向から今回から話し合う3つのテーマ案が決まりました。その後、参加者は話し合っていたいテーマのテーブルに移動し、希望者が多かった地域活動の活発化は2つのテーブルに分かれました。テーブルワークの直前には、イントロダクションとして、東谷小地域に関するクイズが出題されました。



前回の共有結果から分析した傾向

- 地域活動（自治会等）に関するものは課題と取組でともに重要度が高い！
- 地域交流に関するものは取組で重要度が高くなっている
- 子育て支援に関するものは課題と取組で重要度が高くなっている

決定したテーマ

- Aグループ：地域活動が活発なまちにする
- Bグループ：誰もが交流できるまちにする
- Cグループ：子育てしやすいまちにする
- Dグループ：地域活動が活発なまちにする

A・Dグループの概要

◎ 地域活動が活発なまちにする

例えば・・・

- ⇒ 自治会活動の加入率をあげる取組
- ⇒ 誰もが地域活動に参加したくなる方法
- ⇒ 若者への効果的な周知・PR
- ⇒ 新たな人材の発掘と育成 など

Bグループの概要

◎ 誰もが交流できるまちにする

例えば・・・

- ⇒ あいさつや声かけ運動をする
- ⇒ 地域の居場所づくり(コミュニティカフェ)
- ⇒ 自然を活かしたイベントを開催する
- ⇒ 空き家等を活用したイベント など

Cグループの概要

◎ 子育てしやすいまちにする

例えば・・・

- ⇒ 子どもが気軽に寄れる居場所づくり
- ⇒ 地域と学校が連携した取組
- ⇒ 市民が先生になる放課後プログラムの実施

テーブルワーク

4グループに分かれたテーブルワークでは、はじめにファシリテーターから、それぞれのテーマに即したいくつかの事例紹介がありました。その後、各グループは活動メニューから検討をはじめ、メニューがある程度決まったグループは、活動をより具体的に話す話し合いを進めました。どのグループも、閉会時間ギリギリまで活発な議論が行われました。



◎各グループの主な意見

Aグループ：地域活動を活性化させる

- 自治会全般…自治会数が22から20へ ・自治会空白地域がある ・あまり活動していない自治会もある
- 自治会加入率…自治会加入率が低い ・90%以上の自治会もある ・住民意識の変化（損得勘定がある）
・役員ができない高齢者は退会しようとする ・非会員でもゴミステーションのそうじ当番は担っている
- うまくいった経験…小さい子どもがいる場合は入る ・転入者にすぐ個別訪問したら全戸入ってくれた
- どうしたら若い世帯に加入してもらえるか…転入してきたらすぐに訪問する ・若者が興味をもつイベント
・きっかけをつくる・若者のニーズを聞く ・みんなが関心をもつテーマをつくる ・わりばし理論 など

Bグループ：誰もが交流できるまちにする

- 地域の現状・課題…自治会によって高齢化率が違う ・自治会や自治会長によって温度差がある
・子ども会が少ない ・単身世帯が増えている ・新旧住民の間に確執がある ・中間世代が出てこない
・排他的な雰囲気も ・地形のアップダウンが激しい ・地形が細長いので一か所に集うのに無理がある
- 実施する取組案…歩いて行ける場所集える所が欲しい ・気軽に聞ける“聞き屋さん” ・同好会をつくる
・旅行、鉄道などテーマごとに集まって話す機会をつくる ・若い世代が興味あるテーマ ・3世代交流の企画
・各自治会で競いあう（運動会が上手くいっている） ・自治会の発想を変える ・広報活動の充実 など

Cグループ：子育てしやすいまちにする

- 小学校入学前の子ども…保育園が少なかった ・川西市自体が子育てしにくいまち ・無認可の保育園が増加
- 小学校以上の子ども…中学生が集まり勉強する場がない ・公園も遊びの制限がある ・遊ぶ場はない
- 地域行事への参加…子どもと地域の行事に参加したいと思うまち ・大きくなっても年齢に応じて地域に関わりつづけるようなサイクルをつくる ●学校…学校の放課後開放を！ ・学校を中心に地域活性化
- 活動に魅力をもたすこと…いろんな人を受け入れるというスタンス ・大人と子どもと一緒に楽しめること
- 目指すべきまち…地域の大人に叱ってもらえるまちはよいまち ・子どもの声があるまち など

Dグループ：地域活動が活発な東谷にする

- 地域組織…20の自治会 ・東谷コミュニティ推進協議会 ・東谷地区福祉委員会 ●イベント…里山まつり
・里山保全活用 ・河川清掃 ・ふるさと弁当の販売 ●広報…広報誌の発行 ・住人の知られざる別の顔特集
・SNS 東谷みみよりネット ●困っていること…自治会加入率が低い ・自治会間の連携が取りにくい
・新たな取組に消極的 ・新旧住民の区別 ・役員のなり手不足、固定化 ・ボランティアに対する認識不足
・地域の知識不足 ・リタイア世代の発掘が不十分 ・活動費と個人への還元のバランスが難しい
- うまくいっていること…東谷コミュニティの改革により、地域のほぼすべての公益的団体の参加は得ている

